作成日：2025 年　4 月　1 日

患者さんと保護者の方へ

研究協力のお願い

昭和医科大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アトピー性皮膚炎患者の病診連携に与えたデュピルマブの影響-10 年間の動向―
１．研究の対象および研究対象期間 2013 年 10 月 1 日より 2023 年 9 月 30 日に昭和医科大学藤が丘病院皮膚科に他の医療機関から紹介されたアトピー性皮膚炎の患者さん
２．研究目的・方法 2018 年に難治性のアトピー性皮膚炎の患者さんを対象とした生物学的製剤・デュピルマブが認可されました．この薬剤がアトピー性皮膚炎の患者さんの診療に与えた影響を検討する目的で，発売前 5 年間と発売後 5 年間の他院からの紹介状況や治療内容について診療録を用いて比較検討します．
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 • 患者性別・年齢 • 治療内容 デュピルマブ投与例では • 投与期間 • 有効性　Eczema Area and Severity Index（EASI）＝アトピー性皮膚炎の重症度を評価する指標 • 副反応
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません
６．研究組織 研究責任者　　昭和医科大学藤が丘病院　教授　　中田土起丈

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：　昭和医科大学藤が丘病院皮膚科　　氏名：中田土起丈
住所：　神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30　　電話番号：045-974-6232